

水産事業と流通ルート確立による事業継続性と観光拠点構築による地域活性化：干汐漁港（広島県尾道市）

概要

- 瀬戸内特有の魚貝類を中心とした養殖事業と水産加工事業を同一エリアで実施し、事業継続性を高くする為の販売ルートを中国エリアで展開している小売業とタイアップし循環型事業を構築
- 小売業のノウハウを生かし観光要素の高い産直市場の設置とグランピング方式の宿泊事業、生涯学習の受け入れができる体験型施設（釣り堀、マリンスポーツ、加工体験等）・プログラム提供（ブルーカーボン等の環境学習など）、浜焼きBBQや地産地消を意識した食堂施設、潮干狩りができる海岸などしまなみ海道を中心となれる拠点として周辺地域住民、国内旅行者、インバウンド旅行者へアミューズメントを提供

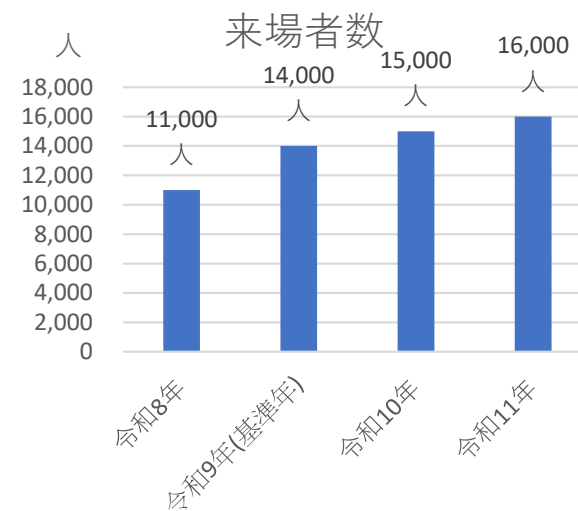
様式 2



海業の取組概要



効果



協力体制

- ・尾道市
- ・向島町漁業協同組合
- ・民間事業者(宿泊、流通事業者等)

令和6年5月 プロジェクト発足
令和6年12月 全体案完成
令和7年秋 一部営業開始予定

◆水産事業と観光事業が直結できるエリア展開。しまなみ海道・向島インターチェンジからも10分ほど。観光のみならず流通としても利便性は高い



◆瀬戸内海を前にした宿泊施設では食堂からの浜焼きBBQでファミリーなど大人数で楽しむことができる

◆体験学習が座学・実習の両面から学ぶことができ、瀬戸内の自然を題材にしたプログラムも予定

